

甲状腺原発リンパ腫の臨床的特徴と発症メカニズムの検討

2002年から2016年までに甲状腺原発リンパ腫という病気にかかっていた患者さん

研究協力をお願い

当科では「甲状腺原発リンパ腫の臨床的特徴と発症メカニズムの検討」という研究を行います。この研究は、2002年1月1日より2016年12月31日までに日本医科大学千葉北総病院血液内科にて、甲状腺原発リンパ腫(甲状腺から発症した考えられる悪性リンパ腫)という病気にかかっていた患者さんの特徴(年齢、性別、症状、橋本病の有無、採血所見、治療効果など)を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：甲状腺原発リンパ腫の臨床的特徴と発症メカニズムの検討

研究期間：2021年7月21日～2023年03月31日

研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 血液内科 横瀬 紀夫

(2) 研究の意義、目的について

甲状腺原発リンパ腫はまれな疾患で、全甲状腺悪性腫瘍の約5%、全悪性リンパ腫の1-2.5%、全節外性リンパ腫の3%未満を占めます。甲状腺原発リンパ腫は自己免疫甲状腺疾患、特に慢性甲状腺炎である橋本病の患者さんに比較的高頻度に発症することが知られていますが、その発症メカニズムや橋本病を先行しない悪性リンパ腫との違いについてはよくわかっていません。本研究は甲状腺原発リンパ腫の臨床的特徴と発症に及ぼす影響を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について(研究に用いる試料・情報の種類)

2002年1月1日より2016年12月31日までに日本医科大学千葉北総病院血液内科にて、甲状腺原発リンパ腫という病気にかかっていた患者さんの医療情報を収集、統計解析し、臨床的特徴の検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、自覚症状、橋本病の有無、腫瘍の大きさ、病理組織診断名、甲状腺機能など採血所見、治療効果、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 血液内科 教授 横瀬 紀夫

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

電話番号：0476-99-1111(代表)

メールアドレス：himitsu@nms.ac.jp